

会 議 録

会 議 の 名 称	令和 6 年度 第 1 回行田市市民公益活動推進委員会
開 催 日 時	令和 6 年 6 月 3 日（月）開会 1 0 時 0 0 分・閉会 1 1 時 2 0 分
開 催 場 所	産業文化会館 第 2 会議室
出 席 者 氏 名	生沢弘幸 塚田忠子 鈴木信良 水野三枝子 島田晴義 山岸泰輔 今村武蔵 野澤 健 澤田春雄 関口行生 鳥海和代 菅野邦男 福島伸悦 田尻 要 堀越 稔 芹澤勝巳 増田有紀 ※敬称略
欠 席 者 氏 名	木口幸子 金原二郎 伊藤賀章 ※敬称略
事 務 局	地域活動推進課：上野課長、綿貫主幹、黒澤主任、藤井主事、地域活動推進課会計年度任用職員 1 名及び市民活動サポートセンター職員 2 名
会 議 内 容	1 開会 2 委員長挨拶 3 議事 （１）市民活動やる気応援助成金審査について 新たな取組応援事業 ①市民活動フェア実行委員会 ②忍の行田の「昔ばなし」語り部の会 （２）市民公益活動推進委員会の委員募集について （３）その他 4 閉会
会 議 資 料	(1) 資料 1-1：行田市市民活動やる気応援助成金交付要綱 (2) 資料 1-2：令和 6 年度行田市やる気応援助成金募集要項 (3) 資料 2-1：事業提案書【市民活動フェア実行委員会】 (4) 資料 2-2：新たな取組応援事業審査、評価基準表 (5) 資料 2-3：市民活動フェア 2024 春まつり開催報告 (6) 資料 3-1：事業提案書【忍の行田の「昔ばなし」語り部の会】 (7) 資料 3-2：新たな取組応援時用審査、評価基準表 (8) 資料 3-3：提案説明用資料【忍の行田の「昔ばなし」語り部の会】

その他必要事項		傍聴人 0 名	
会 確 議 定 録 の	確 定 年 月 日		主 宰 者 氏 名 記 載 欄
	令和 6 年 6 月 2 1 日		田 尻 要

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会 委員長 司 会 事務局 議 長 事務局 議 長 提案者 議 長 生沢委員	1 開 会 ・開会を宣言 ・欠席者、会議成立の旨の報告（過半数の委員の出席による） ・傍聴人数なしの報告 ・事務局自己紹介 2 委員長挨拶 3 議 事 ・要綱の規定により、会議の議長を委員長が務める旨の説明 (1)市民活動やる気応援助成金の審査について ・提案から審査までの流れを説明 ・資料 1-1、1-2 に基づき審査方法について説明 ・両提案団体とも、本委員会内に会員がいるため、提案者以外は会場から退室してもらう。 ・事務局の説明に不明な点はあるか。 ・続いて審査基準について、事務局から説明を願う。 ・資料 2-2 に基づき審査基準について説明 ・事務局の説明に不明な点はあるか。 ・市民や NPO が中心のまちづくり、協働のまちづくりを進めるためにも、多くの団体にこの助成金を活用いただきたい。そういった面も配慮いただきながら審査いただければと思う ・それでは、「行田市市民活動フェア実行委員会」の提案説明に入る。 (提案者提案席へ) ・提案説明時間は 10 分以内でお願いする。 ・資料 2-1 及び 2-3 に基づき説明 ・質疑等があれば発言をお願いしたい。 ・春まつりを見せていただいたが、駐車場が少なく大変な思いをした。快適に市民が参加出来るフェア開催には、広報と、来場者への誘導支援が必要と感じた。

提案者	・ のぼり旗 5 セット、ベスト 10 着は少ないのではないか。 ベストをたくさん用意し、ベスト着用ボランティアが誘導をすれば、来場者が、快適になる。要求しているベストの数、イベント従事者が少ないと思う。 ・ 団体として、適切な数なのか、遠慮して少なくしているのか、そこを聞きたい。 ・ 遠慮はしていない。まずは小さいところからスタートをしていこうと思っている。 ・ 行田市春まつりと同時開催し、相乗効果を狙った。その効果があり、多くの来場者がいらしたが、駐車場の問題については、物理的に解決が難しいと思う。イベント従事者については、他のイベントとの兼ね合いもあるのでここで即答はできない。 ・ のぼり旗の数量は数を増やすことはいいと思うが、資金と置き場所の問題がある。まずは 5 本製作し、意見を聞きながら、数を増やしたければ、来年イベント時にフランクフルトの販売計画を倍の 400 本に増やしたい。
今村委員	・ 市民活動フェアに参加できず申し訳なく思っている。 ・ せっかく作るのであれば、倍ぐらいの数量がいいと思うが、助成率 1/2 の条件があり購入できない。 ・ 担当課に申し上げたい。これだから申請が少ない。助成率の条件に引っかかってしまうわけだから、今年度は、間に合わないとしても、変えた方がいい。
事務局 議長	・ 提案に対する質問ではないので、回答は控える。改めて助成金の制度については検討する機会を設けていく。 ・ 他にあるか。 ・ 以上で質疑を終わりにする。 (提案者退室) ・ 審査に入る。審査基準表に基づき審査・採点いただきたい。記入

提案者 議 長 生沢委員 提案者 生沢委員 塚田委員 提案者 塚田委員 提案者 議 長	が終わり次第、事務局が回収に伺う。 (審査・採点) (審査表回収) ・ それでは、次の団体「忍の行田の「昔ばなし」語り部の会」からの提案説明に入る。 (提案者提案席へ) ・ 提案説明時間は10分以内でお願いします。 ・ 資料3-1及び持参した資料に基づいて説明 ・ 質疑等があれば発言をお願いしたい。 ・ 事業名は、昔話の映像化プロジェクトという題目だが、備品の椅子や演目めくりは、映像化プロジェクトとどのような結びつきなのか。 ・ 昔話を語る雰囲気作りで、とても大事な物となる。出前講演の際、演者の座る椅子はあるが、聴衆の方が座る椅子がない為の申請となる。 ・ 演者が使う備品を要求しているのではなく、聴衆の方のための備品を用意し、映像を撮ることによって、映像のレベルを上げるという意味で理解した。 ・ 行田ケーブルテレビで放映ということだが、1回だけなのか、来年度以降など継続的に行うのか。 ・ 定期的に地域を紹介するような番組で継続的に放映していただけるように、現在交渉中である。 ・ 評価表に、継続性という項目があるので、質問させてもらった。 ・ これは継続性のある事業だと、私達は認識している。 ・ 以上で質疑を終わりにする。 (提案者退室) ・ 審査に入る。審査基準表に基づき審査・採点いただきたい。記入が終わり次第、事務局が回収に伺う。
--	---

事務局	(審査・採点) (審査表回収) ・全ての審査が終了したので、集計に入る。 (集計) ・集計が終了したようなので、助成金の集計結果について、事務局より願する。 ・「行田市市民活動フェア実行委員会」の提案事業については、30点満点に対し、委員の平均点が <u>27.52</u> 点となったことを報告する。 ・「忍の行田「昔ばなし」語り部の会」の提案事業については、30点満点に対し、委員の平均点が <u>25.85</u> 点となったことを報告する。
議長	・今回は2件とも採択された。 － 拍手 － 以上で、やる気応援助成金の審査は終了となる。
事務局	(2) 市民公益活動推進委員会の委員募集について ・先日通知しているが、本日参加いただいている委員の皆様 の任期が今年7月4日で満了となる。本日の委員会が任期 内の委員としての活動は最後となる。2年間、行田市の 市民活動の支援、協働のまちづくりの推進のためにご尽力 いただきありがとうございました。 ・次期委員の募集は5月31日まで行っており、引き続き、ご 応募いただいた皆様、ありがとうございます。近日中に書 類審査を実施し、結果をお知らせする予定である。
今村委員	(3) その他について ・市民公益活動は、事務局や皆様のお陰で盛り上がってき ていると思う。今回の助成金申請は2団体のみ。多くの団体

	が活用できる様に、補助金要綱を変えるべきではないか。 市民活動は新しくやるよりも、継続する事が難しい。団体にとっては継続する事業でも助成対象にしてほしい。先ほど述べた補助率 1/2 の条件も、変えて欲しい。団体は資金が不足しているから、何とか助成を受けたいと、考える。 この助成金をもっと使い勝手のいいのものに、変えていただきたい。
事務局	・ 審査方法についても、この場に来てプレゼンテーションをして、審査を受けるということが、事務局では、公平にやっていると考えているのだと思うが、私どもの団体は、過去に民間の助成金を申請している。書類のみの審査で、30 万でも、50 万でも通る。この助成金制度創設時の予算は 50 万だったが、申請がない為に削減され、今年度は 20 万となった。予算全額消化できるような対策を、取った方が、市民活動が盛んになり、良い方向になる。
澤田委員	・ 市としても、市民活動を活性化し、盛り上げていきたいと考えている。様々な方向で考えていきたい。
福島委員	・ 福島委員にお伺いしたい。動画は、ケーブルテレビで見れないのか。
澤田委員	・ YouTube での視聴を考えている。行田ケーブルテレビに動画制作を頼み、それを YouTube に上げたい。
福島委員	・ 図書館で視聴はできないのか。
塚田委員	・ 小中学校や、公民館に 1 枚は寄贈を考えている。 ・ 今村委員の予算を全て使う案は、私も賛成である。
	・ 今回は 2 件とも審査を通ったが、審査を通らなかった場合、事務局で再指導し、どうにかして助成金をいただくことは出来ないのか。
福島委員	・ 申請に当たり、事務局やサポセンに助言をいただいた。そういう意味では、前回よりも申請しやすかったと思う。

議 長	本を制作する際にも、助成金をいただいたが、その時はとても大変だった。事務局は申請をサポートする体制を取ってくれている事を、理解していただけるといいと思う。 ・申請に係る事務局のサポートは、ずっと前から行っている。委員会で提案し、採択されないのは、厳しい言い方をしますと、皆様の審査が厳しいからである。落とされるのはここで落とされます。我々の文部科学省に出す研究費の予算は、エントリーも、審査も厳しいですが、ここは市民活動の支援ですから、研究費とは違う。なるべく多くの方に有効にお使いいただきたい。 ・やる気応援助成金が始まった頃、多くの申請があり、予算が不足するため増額になっていくような流れにしていきたいといつも話していた。 ・申請書類作成が大変だとか、プレゼンが不慣れだという部分は、委員会もフォローしていきたい。そこで申請書類の簡素化という話もありましたが、この助成金は公金ですので、エビデンス取っておくことのために必要なこととも言えるのではないかと思います。
議 長	・先ほど今村委員からご指摘があったように、もう少し使いやすい助成金に変えていかななくてはならないというのは、本当にその通りでして、次期の委員になる皆様には今後検討していただきたい。審査についても決して通りやすいようにとは言いませんが、考えていきたい。 ・スタート応援事業の助成率 1/2 は、ハードルが高いと私は思っている。何もないからこそ申請しているのに、半分は自己資金を出してというのは、厳しいのではないかな。 ・皆様からご意見をいただきながら、より良いものにしていきたいと思う。 ・本日本日予定されていた議題を全て終了した。議長の職を解かせてい

司 会	ただき、進行を事務局にお返しする。 4 閉 会 ・ 行田市会議録作成要項の見直しにより、今回の委員会の会議録より、全ての出席者に自身の発言内容についての確認をとることとなったため、会議録作成後、内容確認の協力をお願いしたい。 ・ 閉会を宣言
------------	--